

高四だより



2009年度 第2号
高井戸第四小学校
PTA広報実行委員会
2009年11月9日発行

高四小70歳おめでとう！

開校70周年記念祝賀会開催

祝70周年 2009



平成21年10月17日(土)、高井戸第四小学校開校70周年記念式典及び祝賀会が開かれました。

午前中の式典には、山田宏杉並区長をはじめ、多数の来賓の方々が来校され、お言葉を賜りました。また、

児童からは代表として5・6年生が出席し、呼び掛けと合唱を披露しました。

午後1時より祝賀会が開かれ、高四小卒業生や関係者、近隣の方々など多数の参加をいただきました。

開校七十周年記念行事を終えて

本校の開校七十周年を迎えるに当たり、周年行事実行委員会は、学校評議委員山蔦氏を会長として、地域・保護者の方々が参加して下さり、月一回の会議を重ねてきました。

実行委員会の方々には、周年キャラクターの募集、資金集め、記念品・祝賀会の準備等、大変お世話になりました。特に祝賀会は、暖かい雰囲気とおいしい料理で好評でした。

この周年行事を節目に、地域に根差した学校として、よい伝統を受け継ぐと共に、新たな一歩を踏み出していきます。周年行事は、皆様のおかげで大成功でした。心より、感謝申し上げます。

学校長
木村 恵子

SAKURABIちゃんと共に動き出した70周年実行委員会のお仕事。色々な方々のお世話になりながら式典・祝賀会はもちろん、フリーマーケットや運動会、盆踊りや神明祭等でSAKURABIちゃんが活躍してくれました。

アルミ缶やベルマークのご協力もありがとうございました。皆さんのお役に立てる所に70周年の足跡としてSAKURABIちゃんを残していければと思っています。

各学年から集まった実行委員をはじめ、色々な場面で色々な方と接する機会が持てた事を心から感謝しております。ありがとうございました。

70周年実行委員会
委員長 小山 圭子



懐かしい方々との再会 祝賀会のレポート

およそ200名もの方々にご参加いただき、和やかな雰囲気につつまれた祝賀会となりました。当日の様子をお伝えします。

高四小和太鼓同好会が演奏する和太鼓の調べに導かれ、来賓の方々が入場。

オープニングイベントとして、和太鼓の楽曲「勇吉(ゆうきち)」、更に、子どもたちが元気はつらつと学校生活を楽しめるようにとの願いをこめて作られたオリジナル曲「はつらつと」が演奏されました。

大太鼓は戦火をくぐりぬけて65年もの間、子どもたちを見守ってきた大長老です。魂に響く太鼓の調べにしばし酔いしれました。



続いて、実行委員顧問代表であり、第13期卒業生でもある馬橋輝男様より、開会のご挨拶を戴きました。



本校第12代校長の渡邊武夫先生による乾杯のご発声。

渡邊先生は、顧問代表の馬橋さんが小学校に入学した時の担任の先生だったそうです。



実行委員会会長 山蔦祐司様は、実行委員会の代表として、ご協力いただいた皆様へのお礼の言葉を述べられました。



第18代校長東先生、第19代校長松本先生のお二人が校長当時の思い出を語って下さいました。松本前校長は、地域の方々と仲良くするのがいちばんという東元校長の方針を受け継いだとのこと。お二方とも保護者・地域の方々に支えられて高四は発展してきたのだということを強調されていました。



ご来賓の杉並区議会議員 富本卓様、杉並区教育委員長職務代理者 宮坂公夫様、松庵小学校校長 石井文明様より、ご祝辞を賜りました。



杉並区民族無形文化財指定、大宮前郷土芸能保存会による、「寿獅子舞」。舞台上で舞い、客席を練り歩くサービスもありました。



コーラス同好会「グリーンエコー」を中心に、PTA有志及び教職員が声を合わせ、「世界に一つだけの花」「見上げてごらん夜の星を」を歌い上げ、会場をあたためました。



スペシャルゲストのフォーク歌手・中沢厚子さんの優しい歌声が会場を包み込みました。

中沢厚子さんの経歴

1970年キリンフォークコンテストで入賞して以来、吉田拓郎氏のデビューアルバムに参加され、その後もテレビ、ラジオ出演など、数々のご活躍をされていました。ご結婚を機に一時活動休止されてましたが、現在はラジオ出演など活動の場を広げていらっしゃいます。



キーワードは『手作り』 祝賀会開催までの＜うらがわ＞

70周年記念祝賀会の成功の裏には、70周年実行委員会の方々のがんばりがありました。その幾つかを紹介いたします。



▲ 昇降口に置かれたアルミ缶回収BOX

4月のフリーマーケット、常時アルミ缶回収、盆踊りでの出店などで資金集めをしました。

昇降口に置かれたアルミ缶回収BOXは、箱があふれてしまわないように、実行委員の方が頻繁に学校に来てチェックしていました。また盆踊り等で販売した外ウシールは、子どもたちにも好評でした。



▲ 一本一本ように袋に入れている様子

祝賀会のはし袋は全てSAKURABI70のプリント入り。ようじ入れも手作りで、一本ずつ手作業で入れていました。ナプキン入れも、プリン
の空き容器に手作りの装飾がされ、お洒落な雰囲気を作り出していました。小物の一つ一つにきめ細かな気配りがされています。



▲ 盆踊りに出店



▲ 盛況だったフリーマーケット



▲ 割り箸にもSAKURABIちゃん



▲ お洒落な装飾のナプキン入れ



子どもへの記念品として、マイ箸・防犯ベルなどが配られました。のし紙やシール貼りも全て手作りで、心に残るプレゼントになりました。

◀ マイ箸ののし紙に注目



◀ 子ども達に配布された記念の品々

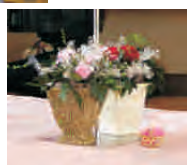
祝賀会開催前の10月14日、プリザーブドフラワーのアレンジメント教室が開かれました。この時PTAの方々手作りしたテーブルフラワーが、祝賀会をいろどりました。

また、学校支援本部の方々により、校門付近に綺麗な花が植えられ、お客様方をお出迎えしました。



▲ フラワーアレンジメント教室のーコマ

会場を飾る花々 ▶



植える時の様子 ▶

祝賀会当日、実行委員の方々は、SAKURABI70のプリントが入ったお揃いのエプロンでお客様をおもてなしました。



▲ 司会者の方と、開会前に入念な打ち合わせ。



▲ お客様を迎える準備が整った会場

◀ テーブルの名前を示す札も装飾の一部



子ども達をおなかに抱いて守るメンドリのイメージで作られた、あそぼう会の二フトリが、この度新調された

のをご存知ですか？

あそぼう会は、1976年当時のPTAが、子どもが放課後遊べる場所を確保するべくスタートした独自の試みで、当初はテレビ局の取材なども来たそうです。

今回70周年を記念して、当時の役員でもあった高橋さんが2代目の看板を作ってくださり、祝賀会にも駆けつけてくださいました。

新しい二フトリに、これからもずっと高四の子ども達を見守ってもらいたいですね。



学芸会直前みどころポイント情報

来る11月13日(金)(児童鑑賞日)・14日(土)8時45分から12時10分まで、学芸会が開催されます。各学年の担任の先生に、見どころについて伺いました。なお、写真は練習風景や大道具・小道具などです。

1年 「ねずみのじょうど」

1年生は、初めての学芸会です。演目は「ねずみのじょうど」。おいしいさんが山でおむすびを食べていると、そのおむすびが、ころころころ。坂道を転がって、最後は穴に入ってしまいます。穴から出てきたねずみにつれられ、たどりついたのは「ねずみのじょうど」。歌や踊りでもてなされ、楽しい時間をすごします。それをきいた、隣の家のお夫婦は・・・。

高四版「おむすびころりん」を、どうぞお楽しみ下さい。



2年 「わがままな王様」

2年生は大きな声でせりふを言うところから練習を始めました。気持ちを込めてせりふを言ったり、動きを入れたりできるように一生懸命練習してきました。

ちょっとわがままだけど、やさしい王様。村人達は、『王様のわがまをなおしてほしい』と願いをかけます。王様のわがまをなおすことは出来るのでしょうか。

2年生全員の気持ちを合わせて、元気いっぱいに演じます。ぜひご覧下さい。



3年 「あくまのたいこ」

初めての学芸会。いい劇にしようと子ども達はとても張り切っています。役を決める時には「自分がどの役をやれば、劇がいいものになるか。」を一人一人が考え、自分に合った役を選びました。それぞれが役になりきり、声の出し方や振る舞い方を工夫しています。劇の中で使う小道具も、子ども達の手づくりです。

3年生全員で作り上げた劇です。ご声援をよろしくお願いいたします。



4年 「その後の桃太郎」

ムカシ ムカシノ オハナシヨ 桃太郎の昔話は有名ですが、その後はどうなったのでしょうか。桃太郎が帰った宝によって村人は幸せになったのでしょうか。桃太郎たちとの戦いにやぶれ、宝物をうばわれた鬼たちはどうなったのでしょうか。現代版桃太郎を通して、本当の幸せとは何か、本当の強さとは何か、四年生が問います。

最後に全員が歌って踊るダンスも見どころです。照明や音響も自分達でやりました。どうぞお楽しみ下さい。



5年 「人間になれた猫」

ダンスタンの森にすむ猫のライオネル。魔法使いのステファヌス博士の魔法で、かねてからの願いだった人間になることができました。ただし、人間として許された時間は2日間だけ。人間になったライオネルが向かったブライトフォードの町では、いったいどんなことが待ち受けているのでしょうか。

5年生にとっても小学校生活最後の学芸会、劇団四季の作品に挑戦します。演技や歌はもちろん、個性的なキャストもお楽しみに。



6年 「エルコスの祈り」

物語の舞台は、今から100年後のユートピア学園。「こんな学校があったらいいな。」という意味の名前がついた学園です。けれども落ちこぼれや問題児ばかり。ダニエラたちや/バツ/バツロボットらに管理されています。そんな学園に、ストーン博士が発明したロボット、「エルリック・コスモス」、通称「エルコス」がやってきます。夢や希望を奪われた子ども達は、優しい心をもったエルコスと接していくうちに・・・。

